

一般社団法人日本脊椎脊髄病学会

平成31年度第3回 理事会 議事録

【開催日時】平成 31 年 4 月 18 日(木) 11:30～12:30

【開催場所】パシフィコ横浜会議センター5階 513

【出席した理事】大川 淳、西良浩一、島田洋一、高相晶士、種市 洋、中村雅也、松山幸弘、
山下敏彦、山田 宏、渡辺雅彦

【欠席した理事】川上 守、千葉一裕、永島英樹、中村博亮、長谷川和宏、前田 健

【出席した監事】加藤文彦、小西宏昭

審議・決議事項

なし

審議・報告事項

1. 総会議事・席次等確認

松山副理事長が、理事会の年間予定および、本日の総会での議事と席次を説明した。

2. その他（フリーディスカッション）

・国際委員会報告

中村雅也理事が、昨年田口前理事長をはじめ数名で参加した Spine World サミットから今年も案内が届いているが、参加した感想としては商業的で政治的なイベントであったと報告した。今年も数名の評議員が参加予定しており、昨年と同じような感想であれば、当学会として積極的に協力する学会ではないと考えている、と意見を述べた。

・定款等検討委員会の委員長交代

定款等検討委員会の委員長である徳橋先生が名誉会員になったため、松山担当理事が委員会委員長の人選を検討し、理事会に上申する予定となった。

・学会国際化の件

学術集会の英語セッションについて

松山副理事長が、学術集会での英語セッションの審査を国際委員会中心に行ってきたが、委員も座長を任されるケースが多いため、過去3年の間に ATF を受賞した先生方にも審査員を依頼したと説明した。ただ、ATF 受賞者も国際委員同様に座長や発表で忙しいため、来年以降は過去10年程度の受賞者に声をかける予定であるとの説明がなされた。

アジア各国との国際協力について

松山副理事長が、本学会としてアジア各国との協力体制を促進するために、APSS の学術集会へ積極的な協力する意向であることを説明した。そのために、ATF の過去の受賞者に対して、理事長と国際委員会担当理事・委員長の連名で参加依頼を予定していると発言した。

大川理事が、国際委員会やボードになった先生方が頑張るだけでは大変な労力が必要になるので、国際委員会の下部組織に APSS に関する WG 設置を提案した。

種市理事が、APSS の会員になってほしいと思っても、一度参加してみないと会員になるかの判断が難しいとすれば、学会の理事等が APSS に参加してそのときに一緒に若手を連れて行くといった仕組みづくりが必要ではないかと提案した。

高相理事が、ワーキンググループメンバーは若い先生がたにお願いしてはどうかと提案した。

松山副理事長が、2021 年の APSS に若手を参加させるにあたり、ATF 受賞者への副賞として APSS 参加旅費補助等なにかの施策を検討したいと提案した。

本件については、今後国際委員会にて検討し、理事会へ上申することとなった。

以上

平成 31 年 4 月 18 日

一般社団法人日本脊椎脊髄病学会

議長 副理事長 松山幸弘

監事 加藤文彦

監事 小西宏昭